

麻生多摩美の森だより

麻生区市民健康の森 — 麻生鳥のさえずり公園

第52号 2018年1月31日発行 発行：麻生多摩美の森の会

発行責任者：井上 正樹

編集者：間野 洋

第16回植樹祭・収穫祭を終えて

会長 井上 正樹

明けましておめでとうございます。
昨年は就任以来、途絶えていた植樹祭・収穫祭を如何に盛り上げていくかに心血を注いだ1年でした。

お陰様で天候にも恵まれ、会員はじめみどりの会、トラストの会、多摩美子供会、麻生プレーパーク、多摩美太鼓の会等の皆様の絶大なる協力のお陰で、総勢203名の参加者で盛大に終えることが出来ました。

ここに熱く御礼申し上げます。
又、麻生区長北沢様をはじめ川崎市公緑地協会理事長の大谷様の温かい御挨拶を戴き、有り難うございました。

又、西生田小学校校長の杉本様、千代ヶ丘小学校校長の松岡様、ご来場有難うございました。

9:30に受付を開始し、10:00開会までの時間を利用し、トラストの会で設置し、雨で利用できなかった大型キャンパスに子供たちに森の絵を描いてもらいました。

こうした子どもたちが自主的に参加することはこれからも続けていきたいと思っております。

今回の収穫祭の里芋を11月4日に子供たちに掘ってもらいました。自分の手でスコップを使い、泥まみれになりながらの体験は一生の思い出になったことでしょう。その里芋をお母さんたちが料理したけんちん汁を子供たちが美味しそうに食べていました。

植樹祭は枯れてしまったオオモミジと地元の有名な禅寺丸柿を植えてもらい記念に子供たちの名前も記入しました。後々「僕が、私が植えたんだよ」と大きくなっても思い出になると思います。

暮らしに役立つ植物たち3班に分かれて「なるほど、そうなんだ」と熱心に聞き入っていました。

音楽は多摩美太鼓の子供たちと高石在住の鴫沢さんのハーモニカ演奏で盛り上がりました。



説明を聞き入る親子連れ



オオモミジの植樹



料理に励むお母さん達



焼き芋準備の煙が奥に



腹に響いた太鼓の音が



皆で描いた大きなキャンパス

カリタス学園女子中学3年生のクリスマス奉仕活動

副会長 中谷 一郎

(公財)川崎市公園緑地協会主催の表記クリスマス奉仕活動が12月19日(火)、20日(水)の2日間、当会の健康の森、多摩美みどりの会の管理地2ヶ所で企画、実施された。参加は女子中学生、初日は120人、2日目は80人。

この奉仕活動は平成24年に始まり、今年で6年目になります。活動内容は里山整備のボランティアです。

●作業内容と指導するスタッフ

- A: 当会健康の森会員4名が指導します。手と足を使い生徒と共に下の畑の傍の伐採後5～6年経過したシノダケを広場北側の保管場所まで運搬。
- B: みどりの会の会員2名が案内、スタッフ4名の皆さんと生徒が鎌を使いササ刈り、刈ったササは緑地内にまとめて置く。
- C: 斧と剪定ハサミで管理棟裏のアオキの伐採。スタッフ4名で生徒を指導する。
- D: 鋸と剪定ハサミでシノダケ、クズの除去、スタッフ4名で生徒を指導する。上の学童体験農場側から作業し運び出し近くに積む、A班が運ぶ。

●作業内容の詳細

A～Dまでのグループ選択は生徒自身が行った。Aは始めてなので、手と足で運びたい人。B、C、Dは鋸と剪定ハサミを使ってみたい人です。

A: 初日は30名を3班に分け、2日目は20名を2班に分け、まず体操後、多摩美

の森の会員が各班ごとに1名付きました。今回の生徒さんは、素直で熱心で何回も何回も手と一輪車を使い、休憩ですよと言うまで運搬してくれました。

B: 1日目3班、2日目2班に分かれ実施。休み時間は、みどりの会会員の野草園タンポポ園、森の話を熱心に聞いてました。

C: 1日目3班、2日目2班に分かれ実施。管理棟裏の汚い所が綺麗になりました。

D: 上記同様にグループに分かれ、上の畑に沿った南側傾斜地までシノダケとクズの除去に身体中、汚れながら作業をしていました。感激です。(先生もA～Dグループに各1名就いて下さり、一緒に作業してくださいました。)

作業完了後の感想発表では、森の作業がこんなに大変だとは思わなかった。また機会があれば来てみたい。楽しかったとの意見が聞かれました。

作業は13:30より2時間で怪我もなく完了。この奉仕活動には200人もの生徒さんに参加してもらい、当会では出来ない作業が一挙にかたずき、大変感謝しています。

主催の川崎市公園緑地協会およびカリタス学園の皆様には、来年も継続して戴ければ幸いです。

よろしく願い致します。



A: シノダケの運搬



B: 鎌を使いササ狩り

志賀海神社の秋の山嘗祭は、志賀3山の山の恵みを感謝し、漁猟を祈る所作を行う。次に禰宜が神楽歌として以下を歌う。

「君が代は千代に八千代に、さざれいしの
いわおとなりてこけのむすまで」

「あれはや あれこそは 我君のみふねか
や うつろうがせ身骸に命 千歳という」

「花こそ咲いたる 沖の御津の汐早にはえ
たらむ釣尾にくわざらむ鯛は沖のむれん
だいはや」

「志賀の浜長きを見れば 幾世経らなむ
香椎路に向かいたるあの吹上げの浜
千代に八千代まで」

「今宵夜半につき給う 御船こそたが御船
ありけるよ あれはやあれこそは安曇の
君のめし給う 御船になりけるよ」

「いるかよいるか 汐早のいるか磯良が崎
に鯛釣るおきな」



山嘗祭における神楽歌の場面

君が代の本文解説の前に、香椎路について説明する。香椎路は香椎宮の参道を意味し、香椎宮の起源は西暦200年、仲哀天皇・神功皇后が檀日の地に行宮され新羅征伐の軍議がなされた宮です。(福岡市東区香椎)

香椎路より志賀の長浜まで船で「安曇の君」が、山嘗祭のため今宵の夜半に到着されると喜んでいる様を歌っている。扱て、本文「君が代」の解説。

①千代に八千代に

糸島・博多湾一帯には千代の松原が

多い。八千代は複数系。また、県庁所在地は千代町である。

② さざれ石

糸島市三雲に細石神社が存在する。江戸時代、志賀島で発見されたとされる金印「漢委奴国王」は現在国宝として福岡市博物館に保管されているが、細石神社の宮司の「口伝」が残されておりこの金印は細石神社に蔵されていたと言う。肝心の志賀島に金印が出土するような遺跡が発見されていないという問題点がある。なぜこの金印が細石神社に旧蔵されたかは不明であるが、糸島の王墓から出土した金印が細石神社に奉納された可能性も高い。



細石神社

③ いわお

細石神社の南側には「井原鑿溝遺跡」、「井原山」等、地元住民が「いわら=いわお」と呼ぶ地名が点在する。

④こけむす

糸島市船越に「若宮神社」があり、こけむす姫が祭神となっている。



若宮神社

前述の「君が代」の歌詞そのものが神社、地名、祭神の4点セットとして揃っているうえ、西暦200年創建とされる香椎宮という強力な地名、神社が加わった。

以上の事から、「君が代」の生誕地は糸島・博多湾岸であり「君が代」に歌われる「君」とは皇室ではなく山誉め神楽歌にある「安曇の君」もしくは別名「筑紫の君」という九州王朝の君主と想定される。

九州王朝については、日本の文献・史料では正確に説明不可能です。ここでは隋書「倭国伝」(たいこくでん)で説明します。「倭」ではありません。「倭国は百済・新羅の東南にあり、大海の中に山島に依りて居す。」

すなわち倭国は朝鮮半島の東南の海上にある島国(九州島)である。

さらに倭王、姓は阿毎(あめ)、字は多利思北孤(たりしひこ)が隋の煬帝へ大業三年(西暦607年)朝貢する。この時の国書の内容は有名な「日出ずる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙無しや」云々と。

隋の煬帝はこの国書に対して、一旦怒ったが、翌年使者「裴世清」を倭国に遣わす事になる。

隋使の裴世清は「阿蘇山有り」云々と阿蘇山を見たとはっきり言っている。

すなわち倭国の都は阿蘇山が見える所にあったということで九州島である。

明治以降の日本の教科書は、この「日出ずる処の天子」云々は聖徳太子の対等外交と称した。しかし西暦607年の推古記の日本書紀では聖徳太子の記載は一切なく「厩殿皇子」の皇太子で摂政が記されているもみで、「日出ずる云々」の記載、小野妹子の遣隋使の件は一切書かれていない。もちろん隋書「倭国伝」にもこの聖徳太子の件は記録に無いのである。

今後の活動予定 副会長 中谷 一郎

早いもので今回の会報は新年の会報となります。

新会長に代わり、植樹祭・収穫祭も若い地元のお母さんの皆様の協力と近隣の町会皆様の御協力で怪我もなく、無事終了致しました。

又12月にはカリタス女子学園中学生(財、川崎市公園緑地協会、主催)の皆様にクリスマス奉仕をしていただき、2日間の行事も無事完了。

今年(2018年)の4月28日(土)は第16回通常総会を予定しています、ぜひご出席をお願いいたします。

会員の老齢化が進む中、新会員に外国の方が入会します、この輪が広がれば嬉しいのですが、ぜひ会員外の方も森に気楽にお出で下さい。

2月 3日(土) 蔓の除去、夜冬の星観望会。

2月17日(土) 麻生プレーパーク、支援。

2月18日(日) 蔓の除去、畑の耕作、清掃。

2月24日(土) 2018里山フォーラムin麻生出

3月 3日(土) 里芋畑耕作、シノダケの蔓除去。

3月18日(日) 草刈り、蔓の除去、清掃。

4月 7日(土) シノダケの蔓除去、清掃。

4月15日(日) ゴミの収集、草刈、里芋の植付

4月28日(土) 第16回通常総会、区役所会議室

★ 会員募集中です。(年会費1000円)一度見学にお出でになって、里山の楽しさを親子で味わって下さい。

● 多摩美の森の会のホームページでは本誌のバックナンバーも見られます。

<http://web-asao.jp/.hp2/tamami/>

◆ 皆さんの投稿、感想をお寄せ下さい。<<お問い合わせ・連絡先>>

井上 正樹 090-6019-3788

famcy643@ybb.ne.jp

間野 洋 044-966-7233

mano-h@jcpm.home.ne.jp